

若手・中堅

No.	作品名	時間 (分)	内 容	
C-1	自らを鍛えよ 中堅社員！ ～リーダーとしての役割と責任～	30		
C-2	中堅社員実力養成シリーズ	1 効果的な仕事の進め方	20	上司を動かし後輩の力を引き出すことで、プロジェクトを成功に導いていくのが中堅社員の役割。日常業務の見直しから、対人スキル、リーダーシップの取り方まで、組織を活性化するビジネススキルをドラマで解説する。
		2 コミュニケーション力を磨く	20	
		3 後輩指導のポイント	20	
		4 魅力あるリーダーの条件	20	
C-3	成果を高める報告・連絡・相談	1 報・連・相の考え方・進め方	30	仕事の基本は報・連・相！ 21世紀もこれは変わりません！！
		2 ケースで学ぶ報・連・相	30	

管理・監督者

No.	作品名	時間 (分)	内 容		
C-4	ニューマネジメントシリーズ 創造的マネジメント	1 創造的マネジャーへの道	24	経営の質的・構造的変革を迫られている今、その担い手としマネジャーの役割が大きな期待を寄せられています。企業の要として、将来のビジョンとシナリオを描き実践できるマネジャーとなるための、意識改革と行動変容を促します。	
		2 価値を創造するマネジメント	24		
		3 個を開発するマネジメント	26		
		4 職場を革新するマネジメント	26		
C-5	第一線監督者の使命と役割	1 監督者の基本心得	25	人員削減、生産ラインの合理化などによって、いざいざとした職場風土が失われつつある今、監督者が果たすべき役割とは何か、継承すべき職場風土とはどのようなものか——監督者の基本心得をわかりやすく紹介します。	
		2 人を活かすOJT	25		現場の課題にスムーズに対応していくには、部下の育成が不可欠となってきます。部下のモラルを高め、意欲を引き出すための具体的ポイントを、身近なケースドラマをもとに紹介していきます。
		3 問題解決のリーダーシップ	25		

生産・製造部門

No.	作品名	時間 (分)	内 容	
C-6	製造現場のOJT	1 ドラマ編	30	製造現場のリーダー向けにOJTの進め方を紹介。リーダーの役割とは何か、部下育成のやり方はどうすればよいかをドラマで解説。第1巻のドラマで問題点を把握、第2巻で改善案を提示する。
		2 解説編	30	

その他テーマ別

No.	作品名		時間 (分)	内容
C-7	[ケーススタディ]	1 信じて、認めて、任せてみる	25	激変するビジネス環境、求められるスピーディな対応と的確な判断、自ら考え、自ら行動できる「自立型人材」の育成こそが21世紀における企業発展のキーワードです。
	部下を伸ばすコーチング	2 部下の問題解決を援助する	25	
		3 自ら伸びる部下に育てる	25	
C-8	～今日から使える～	1 新人／若手の能力を引き出せ！ 基礎編	30	基礎編、実践編あわせ60分で、新人／若手の能力を引き出すコーチング(3つの原則・4つのスキルとその実践)が学べます。具体的にありがちな場面を使い、コーチングのステップを順を追って、さらに良い例、悪い例を対比させながら学んでゆきますから、見たその日から使える実践的内容です。
	実践コーチングシリーズ	2 新人／若手の能力を引き出せ！ 実践編	22	
C-9	管理者のためのカウンセリング・マインド	1 カウンセリングに必要なマインドとスキル	25	今までのカウンセリングとは違う手法で、素人でも使える新しいカウンセリングの手法とそのためのマインド(考え方)を、ドラマを交えながら詳しく解説します。
		2 カウンセリングの進め方	25	
C-10	業績を高める目標管理シリーズ	1 目標管理のあり方	26	『目標管理』は人事評価の単なる一手法ではなく、企業が目的を達成し業績をあげていくための重要なマネジメントシステムであることを管理者が理解し、正しく運用していくことが効果をあげるカギとなります。現場で運用する際のポイントや目標設定、目標修正の基本的な考え方など原理原則を実践的に学んでいきます。
		2 ケースで学ぶ目標設定の実際	29	
		3 ケースで学ぶ目標修正の実際	25	
C-11	管理者の問題解決	1 自ら問題を発見する	25	環境変化のスピードが速い現在、管理者が遭遇する問題は量的には増え、質的には多様化する傾向があります。変動の時代の戦略的経営に欠かせない管理者としての問題解決能力を、理論と技法の習得を通して強化します。
		2 状況をつかみ、対応する	20	
		3 働きかけ、リードする	20	
C-12	問題解決の技術	1 状況分析のプロセス	30	ビジネス社会では、絶えず様々な問題が発生します。どんな問題でも、その状況を正確に把握し、問題点を浮き彫りにすることが、問題を解決に導くための第一歩です。
C-13	問題解決のための「思考と技術」	1 思考編<ゼロベース思考><仮説思考>	20	ビジネスの現場ですぐに使える実践的方法論として、問題解決のための2つの思考と2つの技術、そしてそれらを総合した1つのプロセスを具体的な事例で解説。経営者から一般社員まで、論理的思考を問題解決力を身につけるための社内研修ツールとして最適。
		2 技術編<MECE><ロジックツリー>	20	
		3 プロセス編<ソリューション・システム>	25	